

こまえ



公民館 だより

第 37 号
2016
(平成 28 年)
1 / 15

発行 狛江市公民館

■ 西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1
TEL / 03-3480-3201
FAX / 03-3480-3203
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

■ 中央公民館

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL / 03-3488-4411
FAX / 03-3480-3341
E-mail chukou@city.komae.lg.jp

昨年度いべんとより



3月9日(水)~13日(日)
に開催します

「いべんと西河原実行委員会」
「中央公民館のつどい実行委員会」
が、2・3月の開催に向けスタート
しました。参加団体の皆さんは1年
間の活動の成果を大いに発揮しよ
うと、開催の協力体制を話し合っ
ています。

いべんと西河原 中央公民館のつどい

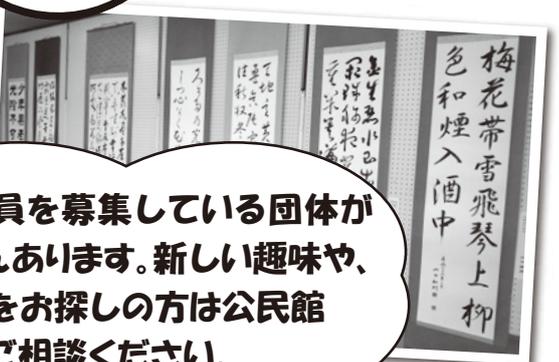
準備中

2月27日(土)・28日(日)
3月5日(土)・6日(日)に
開催します



昨年度つどいより

新規会員を募集している団体が
たくさんあります。新しい趣味や、
お仲間をお探しの方は公民館
窓口にご相談ください。



2月27日(土)・28日(日)
3月5日(土)・6日(日)

イベントと西河原!

日頃の練習を発表!
体験コーナーもたくさん!

特別おはなし会
人形劇「おてらのつねこさん」
3月10日(木)15:45~約30分
人形劇サークルスーパ

多目的ホール
コンサート

絵画展	写真展	玉川碑の紹介	書道展	俳句展	水墨画展	手工芸展
地域ねこ相談会		チャレンジ学級活動展	日本舞踊・篠笛の発表		健康ストレッチ体験	
民謡発表会・体験		日本語教室活動展	南フランスのお菓子 家庭料理		クラフト展 &ハーブティー	
お茶会	生花展	手作りクッキー &コーヒー	木工作品展と包丁研ぎ			
パソコン体験		サポートセンターりんく 活動展	陶芸展・手作り陶器市 ロクロ実演			
和紙漉き体験		体操デモンストレーション				



昨年度いべんとより

3月9日(水) ~13日(日)

中央公民館のつどい!

皆さんの元気のもとを
見に来て
ください!

つどいコンサート

展示 絵画展・写真展・書道展・川柳展・手工芸展 水墨画展・生花展・陶芸展・活動展	てんこく 篆刻実演	裂き織り体験
ちぎり絵ミニ講習 歌声喫茶 おはなし喫茶	手作り陶器市	着付け体験
お茶会 台湾茶お茶会	折り紙講習	猫江の放射能の測定
	まちづくりシンポジウム	バレエ体験(女性)
	フードバンク紹介	マジックたわし製作講習
		喫茶室



昨年度つどいより

公開活動

ハーモニカ・マンドリン・ギター・ウクレレ・カラオケ・
バラライカ・コカリナ・太極拳・ヨガ・フォークダンス・
気功・ジャズダンス・和菓子づくり・歴史研究・手芸・
手話・英会話・囲碁・将棋・ポタニカルアート

「公民館利用者の会」を発足しました。 定例会:毎月第4火曜夜 中央公民館にて

公民館を利用する団体相互のコミュニケーション、団体と公民館とのコミュニケーションを図り、
公民館と協力しながら、公民館をより良い活動の場にしていくための集まりです。
ご一緒に創っていきましょう。皆さんぜひご参加ください。

「思い出の写真やネガフィルムを綺麗にデジタル化」

第1回 1月27日(水)～29日(金)
午後1時～4時

ご自宅にある古い写真やネガフィルムをスキャナーでパソコンに取り込み、綺麗に補正したり整理する方法を学びます。



講師：らくぽ倶楽部講師

場所：西河原公民館パソコン室

定員：10人

対象：市内に在住・在勤・在学のいずれかで、日本語入力ができ、3日間とも出席できる方

持ち物：古い写真・ネガフィルム

参加費：500円(テキスト代※初日持参)

申し込み：1月6日(水)午前9時から(先着順)

第2回 3月9日(水)～11日(金)
午後1時～4時

に予定しています。(詳細は市広報でお知らせします)

男の料理教室 天ぷらうどんに挑戦!

2月13日(土) 午前10時～午後1時

講師：宇多川清治さん

「うどん」

2月20日(土) 午前10時～午後1時

講師：元祖 蕎麦打ち迷人会

代表 神原章造さん

「天ぷら」

場所：西河原公民館料理実習室

定員：10人 材料費：各回500円

対象：市内に在住成人男女

申し込み：1月18日(月)午前9時から

パソコン室の一般開放

西河原公民館

2月5日(金)・3月18日(金)の2日間
午後1時～4時

パソコンを自由にご利用できます。

●講座形式ではありません。操作等でご不明な点は常駐している講師に尋ねることができますので、お気軽にお越しください。(内容によりお応えできない場合もあります)

●インターネットのご利用には制限があります。メールはご利用できません。

印刷する方は用紙をお持ちください
(枚数制限30枚まで。白黒のみ)

講師：狛江市シルバー人材センターパソコン教室講師

対象：市内に在住・在勤・在学のいずれかの方

郷土史講座

「戦後の苦しさから
豊かな社会へ」

3月9日(水)・16日(水)・23日(水)
各回とも午前10時～正午

講師：狛江市文化財専門委員
井上 孝さん

場所：西河原公民館学習室II

定員：20人 参加費：無料

対象：市内に在住・在勤・
在学のいずれか

申し込み：2月17日(水)
より受付

わたしが**担当**です

今年4月に西河原公民館に着任しました。西河原公民館では、各世代を対象に様々な事業を行っています。

私が担当している事業は、チャレンジ青年学級、夏休み子ども体験教室、西河原クリスマスコンサートです。

チャレンジ青年学級は、障がいのある青年たちが仲間づくりをしている場です。講師の指導で、軽スポーツ・音楽・クラフトをボランティアと共に楽しんでいます。

西河原公民館



千葉 茂

夏休み子ども体験教室は、夏休み期間を利用して小中学生を対象に、陶芸や木工などを、公民館で活動している団体の方が講師となって作品作りをします。

西河原クリスマスコンサートは、12月に西河原公民館多目的ホールで開催され、公民館で活動している音楽団体の方が出演し、クリスマスソングなどを演奏します。

公民館事業は、こうした方々のご協力がある成り立っています。ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします。

“こまえ市民大学”へどうぞ!



参加者の声から

各回とも土曜日の午後2時から、中央公民館で開催。
多彩な講座を企画しています。詳細は「広報こまえ」
(1日、15日発行)や市内の掲示板でお知らせします。

1月23日 (土)	新春寄席 「落語と伊勢参りの話」 真打 三遊亭栄楽さん 前座 三遊亭栄豊満さん お二人とも皇學館大学卒の神主資格保持者。栄楽さんは各地の神社で公演しながら何回も伊勢参りをされています。
2月20日 (土)	はいぶつきしゃく 「神仏分離令と廃仏毀釈」 駒沢女子大学名誉教授 菅原昭英さん 市民大学おなじみの泉龍寺前任職の菅原東堂が、仏教の受難の歴史を解説します。
3月19日 (土)	「朝鮮通信使と日韓交流」 放送大学図書館長 吉田光男さん 江戸時代に何回も日本を訪れた朝鮮通信使。今も「通信使ウォーク」として日韓のかたが、かつての行路をたどっています。

講座の内容は、歴史、時事問題、医療、地元で活躍する企業・人・音楽、芸能などの他、バスで行く課外講座など。課外講座は、昨年は山梨県立リニア見学センターと富士山レーダードーム館、渋沢栄一記念館と富岡製糸場見学を実施。いずれも定員を越す人気でした。来年度は要望にもあった横須賀の電力中央研究所見学などを計画しています。

参加回数は2～5回の方が一番多く、次いで初めて、6～10回の順。講座の内容には、ほとんどの方が「大変良い」「良い」と応えており、満足されているようです。特に人気だったのは、昨年のNHKドラマ「花燃ゆ」にも登場した楢取素彦の玄孫の話で105人の参加でした。

参加者アンケートによれば、希望する講座は、以下のように多岐にわたっています。特に、狛江の歴史、健康に関する講座の希望が多く、皆さまの期待に応えられるよう、市民で構成する運営委員会で検討していきます。

- 「環境問題」「まちづくりと私たち」「エネルギー問題」
- 「地震の予知・予防」「中国の軍備拡大と日本の対処」
- 「中国情勢とイスラミックステート=IS」「食と安全」
- 「宗教の起源と教義」「幕末から明治時代の変化」
- 「認知症と高次脳機能障害」「終活」「老人ホームの選び方」
- 「市内在住の音楽家の話」「地元の事業所の紹介」

公運審だよ!

「持続可能な社会づくりと公民館の新たな可能性」
公民館研究大会 11月14日 小平市

E S D (Education for Sustainable Development) を取りあげ、この面での公民館の新たな可能性を探る研究大会に参加しました。E S D は環境問題(地球の異変)への対応として一九九二年に提唱され、昨年まで「国連E S Dの10年」が国際的に実施されました。日本では「持続可能な社会づくり」として取り組んでいる地域や公民館があります。

今日、人類社会がかかえる課題は複雑多岐にわたり、様々な学問・知識・経験の横断的・総合的なアプローチが必要で、この考え方は、現代の地域社会の課題解決にも適用できます。少子高齢化、健康で長生き、生きづらさ、貧困の増大、世代を超えた交流、災害対策、支え合って生きる地域社会など…。各分野で取り組んでいる人々がいて、一人一人の生活の中での努力があり、その多くの人々の気づき(不安、思いつきを含め)を結びつける中で、課題への総合的な対応策が出てくる可能性があるのです。ここに、人々が学び、出会う場としての公民館の出番があります。

これらの取り組みには、教育を「知識を与えてもらう」という受け身から、感じとった課題について自ら学び、当事者同

士が結びついて行動を通して解決を探っていくという能動的なものへと、教育観を転換することが迫られています。それは、これまで公民館がおこなってきた活動(社会教育)でもありません。

シンポジウムの中では、公民館職員の方や市民の関わりの大切さも指摘されました。職員はコーディネーター(市民活動の伴走者、伴奏者)であり、多様な人々がいることを前提に、集団としての方向性を促していくことが求められる、市民の側は、様々な人々が出会い、実践を通して、価値観の違いを認識しつつも、互いに当事者であることで理解し合い、市民としての責任を果たすことが促される、ということでした。

こうした観点から、これまでの取り組みを位置づけ直し、地域課題の解決につながるような講座や人々の結びつけを意識的に取り組むことにより、公民館は持続可能な地域社会づくりに貢献していくとの展望が語られました。

(公民館運営審議会委員長 日向正文)

狛江市は東京都公民館連絡協議会(都公連)に加盟しており、他市の公民館と協力して、情報交換や研修を行っています。今月は前記のE S Dとも関連した、次の研修があります。ぜひご参加ください。申込みは、中央公民館へ

「市民の学びから市民活動へ」
板橋区の実践から
~ともに創る未来のための学びの10年~
齋藤真哉氏(板橋区教育委員会)
廣瀬力ズ子氏(NPO法人ボランティア・市民活動学習推進センター理事長)
1月30日(土)午前10時~12時30分
会場:中央公民館ホール